
学園默示録 HIGHSCHOOL OF THE DEAD ~救いを与えしもの~

ノワール

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

学園黙示録 HIGH SCHOOL OF THE DEAD

救いを与えしもの～

【Zコード】

N5254M

【作者名】

ノワール

【あらすじ】

俺は救えなかつた。

その事実に絶望しながら死んだ。

だけど、俺にはチャンスが与えられた。

だからこそ、今度は救つてみせる。

わあ、絶望よ。俺という存在がいるかぎりもう貴様の好きにはさせない。

希望^{オレ}の力を思い知れ。

希望の始まり（前書き）

自分の納得のいく作品が無かつたために書きました。

節操無しでじめんなさい。

希望の始まり

俺、夜難蓮は一度死んだ。どうやって、と聞かれてもわからない。いつの間にか死んでいた。だけど、救いたかった人を救えなかつたことだけはわかる。それが悔しくて悲しくて、なんで俺はまだ思考することが出来るのか、ここはどこか考える氣すらなかつた。

お願いがあります。

ふと声が聞こえてきた。とても悲しい音色だった。きっと今俺が喋つたらこんな感じになるんだろうな、なんてくだらないことを考えて自嘲気味に笑う。

お願いします。彼らを救ってください。

「彼ら？ 救う？ 何故そんなことを俺に頼むんだ」

俺には無理だ。よく覚えていないが俺は失敗したからここへここへとこりにこりに……

だからこそです。

な！？ 思考が読まれているだと！？

ここでは思考が言葉なのです。だから今あなたに聞こえて
いるのは私の思考でもあるのです。

はは、まさにファンタジーだな。……いや死んだはずの俺がこ
うしている時点でわかりきっていたことか。……はあ、それで『彼
ら』、『救う』というのは一体なんのことだ？

はい。とある世界で少年達が生きながらにして死者が動く
地獄のような場所にいるのです。それであなたには彼らを助けてほ
しいのです。

……あ～、ここにいる時点で大概のことには驚かないつもりでいたが、まさかこんな展開になるとは予想外だ。

何故ですか？

さっきも言ったが俺には救えない。おそらくお前なら俺が何故死んだのかわかつているんだろう？

はい。ですが『だからこそ』あなたにお願いするのです。一度失敗したあなただからこそ『救う』といつことが出来ると思いますから。

……なるほど。理解はした。納得はしたくないがな。

あなたにはあなたが望む『全て』を差し上げます。

ふん。『全て』などいらない。それで釣られるような愚か者ではないからな。

ならどうすれば……

なに、簡単なことだ。お前も来い。お前がなんのかはいまいちわからぬが救いたいならお前が救え。それならば力を貸してやる。

……そう、ですね。ならば再びお願ひします。彼らを救うのに力を貸してください。

ああ。もちろん。

そう答えた瞬間俺は『生まれた』。

希望の始まり（後書き）

どうですか？

氣に入っていただけましたかね。不評のようならこの作品は止めます。

「意見」ご感想お待ちしています。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5254m/>

学園默示録 HIGHSCHOOL OF THE DEAD ~救いを与えしもの~
2010年10月17日03時33分発行